

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
江島・白子地区

平成23年6月

三重県鈴鹿市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定 の別		目標達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	下水道普及率	%	76	77	80	確定 見込み	●	○	あり なし	78	H23年6月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業と公共下水道事業を一体的に実施したことにより、事業の円滑化が図られ、下水道の普及が促進した。
指標2	漁業後継者人数	人	24	24	20	確定 見込み	●	×	あり なし	19	H23年6月	×	青年部から壮年部 への移行により減少した	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	景気の低迷による影響が大きく、漁業後継者は増加しなかった。
指標3	イベント参加延べ人数	人/年	20	200	230	確定 見込み	●	○	あり なし	213	H23年6月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	安全な漁港環境の確保に加え、白子漁港水産振興事業での稚魚の放流イベントの実施が漁業に身近にふれあえる機会となり、参加者が増加した。
指標4						確定 見込み			あり なし		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の 数値指標1	建築着工件数	件	1		65	確定 見込み	●		42	H23年6月		評価値の見込み推 計が甘かった。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業と公共下水道事業を一体的に実施した ことにより、良質な住環境の確保が図られ、人口定着が進 んだ。
その他の 数値指標2	イベント参加者アンケート による漁業関心度	%	-		81	確定 見込み	●			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	白子漁港水産振興事業での稚魚の放流イベント実施が、 魚の成育過程や成育環境について知る機会となり、漁業 への関心が高まった。
その他の 数値指標3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	人口定着のさらなる促進	・区画整理地区内の未整備箇所の整備を進めた。	・区画整理地区内の一部使用収益の開始を行うことができた。	・区画整理地区内の未整備箇所の整備を進め、施行期間内での事業の完了を図る。
	漁港環境のさらなる充実	・低コストで漁港施設の機能維持ができるよう、定期的な点検・補修を行った。	・漁港施設の定期的な点検を行ったことで、大規模な修繕を行うことなく施設の維持ができた。	・安全な漁業操業ができるよう、漁港、漁港海岸の保全整備を図る。
	漁業環境のさらなる充実	・魚の生産、育成に向けた種苗放流の促進を図った。 ・漁獲安定に向けた魚の資源管理を引き続き徹底した。	・魚の生産、育成に向けた種苗放流を行ったことで、資源の確保を目指すことができた。	・漁業関係者や森林関係者と連携して、漁場環境悪化の防止に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	漁業経営基盤の強化	・水産業活性化の拠点施設として水産物直販所の活用推進を図った。 ・漁業関係者への意見聴取をしながら、漁業者が安定感をもって漁業に着業できるような環境づくりを行った。	・直販所での販売を順調に伸ばすことができた。 ・漁業関係者からの意見聴取により課題や要望を聴取することができた。	・水産物のPR等により安定した漁業環境づくりを行い、漁業担い手の確保に努める。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項